

平成30年度一般入試（第1次）・入試問題

生物生命科学 出題意図

日本語問題：

生物生命科学分野の幅広い基礎知識、理念、研究手法に関わる問題を出題し、生物生命科学的现象に対する理解力、論理的な分析能力・思考力、そして解答説明の文章力を総合的に評価する。

問題1： 細胞の骨格構成と運動機構に関するタンパク質についての理解を問う。

問題2： 真核細胞の起源について説明できるかどうかを問う。

問題3： 発生生物学が対象とする主要な現象について、研究手法の原理と活用方法についての知識並びに正しい結果解釈のための思考力を測る。

問題4： PCR法に関する理解を問うことで、分子生物学の基礎的な理解を評価する。

問題5： 個体群生態学の基礎理論を理解しているかどうかを問う問題である。

問題6： 海洋生物学における生物多様性とそれを支える海洋生態系の基本的理解を問う。海産動物の生息環境と生活様式、それらに適応した体の構造や機能についての理解を問う。

英語問題：

生物生命科学専攻では、専門に関する英語の論文を読んで理解することにより知識を拡充し、実験方法など自身の実験の参考とすることが必要になる。その為、入学時に必要される英語の読解力を判定することを意図して、専攻に関連する英文和訳を出題する。